

3月議会で新庁舎建設関連予算 国有地買取費用38億円可決！

3月25日に閉会した松戸市議会の最終日、市議会は松戸市が提案した国有地買取費用の約38億5千万円を、賛成多数で可決しました。この議決によって、市は、松戸駅東口方面に位置する相模台地区の国有地およそ8千750㎡を取得することになり、また、同所への市役所建設が具体化する可能性が高くなりました。

実は、同所取得を巡っては、波乱に満ちた経緯があります。昨年5月に開催された臨時議会においても、今議会で可決された同じ場所の買い取りをするために、議案が上程されていたのです。しかし、案として示された総敷地面積37,000㎡の建物では小さすぎるのではないかと、交通渋滞解消策が示されていない、といった疑問点が数多く示されました。市は、議会側が抱く不安を解消することができず、その結果、一度は反対多数で否決されたのです。その後、市役所要地としての活用方法を部分的に修正したことで、この度の3月議会で可決するにいたった訳です。



大きな波乱を招いた国有地買取 市は計画性の甘さを反省すべき

一度否決された国有地買取議案を再度提案してくる市の姿勢に、強い疑問を抱く議員もいました。市庁舎の建て替えの必要性が唱えられはじめたきっかけは、2011年の東日本大震災です。3月11日、松戸市にも大きな地震が訪れました。その揺れは、松戸市の庁舎にも多大なダメージを与え、本館と新館は国基準の耐震性を下回る状況になっていることが分かりました。

当初は、現地建て替えを計画した市ですが、相模台の国有地の譲渡を受けられる可能性が浮上し、一転して移転の姿勢にシフトしました。しかし、何年経っても買い取りの話が進まず、建て替えの計画を無責任に放置したままの状態が続いてきました。「早く建て替えなければ市民や職員に危険が及ぶ」との議会からの指摘を受けながらも、のらりくらりと時間を経過させた市の責任は軽くありません。市は大いに反省し、今後の新庁舎建設には気を引き締めてあたるべきです。



HPもご覧ください！ **みのわ信矢** 検索

連絡先 松戸市金ヶ作418-94



みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部